医療法人社団日高会
日高病院

病診連携通信

Information

No.1～ No.20

H16.6.26 ～ H18.5.29

病診連携通信 No.1 ～ No.20

Information

No.	発行日	主な内容
No.1	平成16年06月26日	第1回解放病床運営委員会/内視鏡/登録医/病診連携室
No.2	平成16年07月22日	解放病床/紹介数・在院日数/CT・MRIについて/放射線科
No.3	平成16年08月30日	登録医/手術実績
No.4	平成16年10月25日	院内掲示/手術実績/地域リハビリテーション広域支援センター委託
No.5	平成16年12月13日	病院機能評価受審/オーソパイロットナビゲーション
No.6	平成17年01月10日	新規登録医/急性期特定入院加算/ボランティア活動
No.7	平成17年02月14日	手術件数報告/災害拠点病院訓練/病診連携アンケート結果
No.8	平成17年03月15日	アンケート結果/病院品質管理大会/救急搬送数
No.9	平成17年04月08日	地域医療支援病院/病院品質管理大会
No.10	平成17年05月28日	登録医マップ/診療一覧表送付
No.11	平成17年06月18日	地域医療支援病院運営委員会/MWS日高在宅事業部/研修会
No.12	平成17年07月26日	リハビリテーションセンター/紹介率・在院日数
No.13	平成17年08月20日	研修会/日本医療機能評価機構/紹介率・在院日数/リハビリツアー
No.14	平成17年09月30日	登録医について/公開市民講座/新任医師紹介/紹介率・在院日数
No.15	平成17年11月07日	研修会のご案内/診療録・医療情報管理室/紹介率・在院日数
No.16	平成17年12月10日	体外衝撃波結石破砕装置/リハビリテーションツアー/小学校学習会/紹介率・在院日数
No.17	平成18年01月15日	H17年救急搬送数/病診連携室
No.18	平成18年02月04日	H17年紹介患者数/H17年基本統計と月平均数
No.19	平成18年03月16日	NST教育認定施設/カウンセリングルーム
No.20	平成18年05月29日	病診連携室/医療安全管理室

病診連携通信

平成16年6月26日
病診連携室　発行

第1回開放病床運営委員会を開催致しました！

平成16年5月20日、あいにくのお天気にもかかわらず、１６名の先生方にご参加いただき、第1回目の記念すべき委員会の開催ができました。和気あいあいとしたなか、積極的なご意見も多数いただき、無事終了致しました。
6月20日現在、開放型病床共同指導料の算定はありませんが、患者様に顔を見せに来てくださる先生は増えております。　感謝申し上げます。

内視鏡のご利用について

大澤　清孝
内視鏡外科部長

登録医の先生からのご要望にお応えいたしました

患者様が１日来院すれば、内視鏡検査を受けて頂ける流れとしました。
ご案内ﾍﾟｰｼﾞを早急に作成し、お届け致しますが、まずは病診連携室までご連絡ください。

病診連携室　TEL027－362－6201

尚、検査用の診療情報提供書も作成中です。

登録医の先生方からの紹介数～5月～

真下クリニック	28 件
はせべ医院	13 件
やまなクリニック	5 件
ひぐち内科クリニック	4 件
堀越医院	3 件
はぎわら内科医院	2 件
中島クリニック	2 件
牧元医院	2 件
あいざわクリニック	1 件
もてき脳神経外科	1 件
小林眼科	1 件
清水内科	1 件
長谷川内科医院	1 件
合計	64 件

主な病院からの紹介数･当院の平均在院日数など

群馬大学医学部附属病院	14 件
榛名荘病院	8 件
野口病院	8 件
高崎病院	7 件
真木病院	7 件
中央群馬脳神経外科病院	7 件
群馬中央総合病院	6 件
群馬県済生会前橋病院	5 件
前橋赤十字病院	5 件
桐生厚生総合病院	4 件
沢渡温泉病院	4 件

平均在院日数	12、1日

救急車搬送数	142件

病診連携室のｽﾀｯﾌ紹介をさせて頂きます

・・・どうぞ、よろしくお願い致します！

室長
小池　景子

営業に伺わせて頂きます

橋爪　秀忠

医療相談をお受けしています

上田　雅士

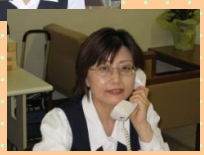
さわやかな電話交換に心掛けています

木村　悦子

主任
長谷部　純

岡田　千穂

宮前　重利



下田　洋子

私達は『患者様を中心』に、『かかりつけ医の先生と日高病院の連携した医療提供』の橋渡しを担っています。

病診連携通信

平成16年7月22日
病診連携室発行 No2

群馬郡医師会の常会で開放病床の説明をさせて頂きました

６月２８日に、群馬郡医師会の常会で、当院の関原副院長が開放病床の説明をさせて頂きました。
開放病床の運営は、『日高病院の医師への教育が大切である』など、大変貴重なご意見も頂戴しました。
７月より、群馬郡の各診療所の院長先生をお訪ねして、登録医としての合意を頂いています。
群馬県への登録が済み次第、群馬郡の登録医の先生方を含めた、新しい名簿を送付したいと考えています。

主な病院からの紹介数・当院の平均在院日数など

平均在院日数	12.1日
救急車搬送数	132件
紹 介 率	62.7%

群馬大学医学部付属病院	19 名
高崎病院	10 名
前橋赤十字病院	9 名
榛名荘病院	8 名
野口病院	8 名
中央群馬脳神経外科病院	7 名
群馬中央総合病院	6 名
桐生厚生総合病院	5 名
渋川中央ﾘﾊﾋﾞﾘ病院	5 名
第一病院	5 名
県立心臓血管ｾﾝﾀｰ	3 名
その他県内の病院	２３件 ３５名
その他県外の病院	１２件 １２名
合　　計	１３２名

特集：CT・MRIについて

放射線科　主任
須田　悟志

登録医の先生からのご要望にお応えいたしました

6月より検査予約をスムーズに行えるように、専用ダイヤルを設置致しました。
日高病院の放射線科だけでなく、地域の放射線科を目指したいと思っています。
今後ともよろしくお願い致します。

放射線科ﾀﾞｲﾚｸﾄｲﾝ　TEL027－362－2992

尚、検査用の診療情報提供書は８月完成予定です。

～5・6月～　CT・MRIの主なご利用機関と診療科

真下クリニック	間仁田歯科医院
整形外科はせべ医院	やまなクリニック
ひぐち内科クリニック	うめやま医院
小林内科胃腸科医院	砂長胃腸科外科医院
牧元医院	いたがき内科ｸﾘﾆｯｸ
堀米医院	石倉歯科医院
堀越内科クリニック	

各診療科おけるＣＴ・ＭＲＩ紹介患者数

内　　科	６件
外　　科	４件
整 形 外 科	３１件
脳 神 経 外 科	１４件
泌 尿 器 科	２８件
歯　　科	８件
合　　計	９４件

ﾀﾞｲﾚｸﾄｲﾝでCTを依頼しています

真下クリニック
真下　正道院長先生

いつもCT，MRIをお願いしています。日高病院にお願いしている理由は、
①FAXでなく、ﾀﾞｲﾚｸﾄ電話で予約がとれる為、患者様をお待たせせずに、すぐに予約が取れる。
②夜間、土曜日、日曜日も予約を受け付けてくれる。
③放射線読影専門医に読影してもらえる。
などです。これからもよろしくお願いします。

放射線科のｽﾀｯﾌ紹介をさせて頂きます

・・・どうぞ、よろしくお願い致します！

平均年齢29歳。若さあふれる放射線科です。より良い画像提供とｽﾑｰｽﾞな検査を心掛けて日々の業務に取り組んでいます。
検査予約を直接受付けております。ぜひ、ご利用ください。

病診連携通信

平成16年8月30日
日高病院病診連携室発行 No３

碓氷安中医師会の先生が登録医に

８月より、碓氷安中医師会の各診療所の院長先生をお訪ねして、登録医としての合意を頂いています。結果、18名の先生方から、登録医として合意を頂けました。９月より開放型病床をご利用いただく事が可能になります。
早々に、碓氷安中医師会の登録医の先生方を含めた、新しい名簿を送付致します。

特集　～ 当院の手術実績 ～

今月号より、院内情報を公開したいと思います。まず、２００３年における当院の手術実績を診療科別に紹介致します。まず、第一弾として、整形外科と泌尿器科の特集をお届けします。

～ 整形外科 ～

疾患部位・疾患名		術　　式	患者数
骨折関連	大腿骨骨折	骨折観血的手術	56
		人工骨頭挿入術	12
	膝～足部の骨折	骨折観血的手術	16
	上肢骨折	骨折観血的手術	22
	手指骨折	骨折観血的手術	14
		経皮的鋼線刺入固定術	6
	鎖骨骨折	骨折観血的手術	6
	その他	骨内異物除去術	42
		その他	5
手指関連疾患	ばね指・腱鞘炎等	腱鞘切開術・開放術	43
	腱断裂・槌指等	腱縫合術	11
		腱移植術	3
	神経腫	神経腫切除術	4
	神経損傷	神経縫合術	3
	切断	再接着術	2
	その他	骨内異物除去術	14
		その他	14
下肢・足部関連疾患等	下肢・足部壊死	四肢切断術	4
	アキレス腱断裂	腱縫合術	3
	褥瘡	皮弁術	4
	その他		7
変性疾患・炎症性疾患	関節リウマチ	人工関節置換術	2
		関節滑膜切除術	3
	変形性股関節症	人工関節置換術	3
	変形性膝関節症	人工関節置換術	1
		半月板切除術	1
	その他		7
その他			20

整形外科医長
根岸　龍一
群馬大学（S61年卒）

整形外科は5人の医師により編成され、特に今年度は全員が専門医であり、経験豊富な医師をとりそろえています。全身の骨折・脱臼はもとより、ﾘｳﾏﾁ・変形性関節症といった変性疾患や手指の血管・神経損傷などの緊急手術を要する外傷など幅広く対応できる体制を用意しています。
特に最近の話題として、群馬県内初の手術用ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝｼｽﾃﾑを導入しました。CTを必要とせず、赤外線ｾﾝｻｰにより術中の情報をﾘｱﾙﾀｲﾑに提供してくれる手術支援ｼｽﾃﾑで、下肢の人工関節手術などに応用し、今後広く多用していくことを検討しております。症例がありましたら、宜しくお願い致します。

～ 泌尿器科 ～

疾患名	術式・検査名	患者数
前立腺がん	前立腺全摘出術	11
前立腺がん疑い	前立腺針生検	127
前立腺肥大症	経尿道的前立腺切除術(TUR-P)	28
	前立腺被膜下摘除術	2
膀胱がん	膀胱全摘除術	4
	経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-Bt)	52
腎臓がん	腎腫瘍部分切除術	1
腎盂尿管がん	腎尿管全摘術	3
腎のう胞	ｴｺｰ下穿刺ｱﾙｺｰﾙ固定術	5
精巣腫瘍	高位精巣摘出術	5
尿道狭窄	内視尿道切開術	10
	ﾀﾞﾌﾞﾙｼﾞｪｲ(D-J)ｶﾃｰﾃﾙ留置術	62
	尿管膀胱再吻合術	2
	尿管ﾊﾞﾙｰﾝ拡張術	1
	尿管再吻合術	1
膀胱尿管逆流症	膀胱尿管逆流防止術	2
陰嚢水腫	陰嚢水腫根治術	3
腎尿管膀胱結石	体外衝撃波結石破砕術	244
	経尿道的尿管結石破砕術	19

副院長・泌尿器科部長
関原　哲夫
群馬大学（S58年卒）

当院の泌尿器科は3人の指導医と1人の若手医師が、地域医療に積極的に貢献するという気概を持って働いております。
当科の特徴は尿路結石の治療（ESWL、内視鏡破砕術）でありますが、泌尿器癌に関しても、積極的に取り組んでおります。最近の傾向として、前立腺癌の手術が増加しています。前立腺癌の手術では、尿失禁が患者様にとって大きな問題でありますが、術後1～2ヶ月で殆どの方に失禁は認めなくなっています。良性の前立腺疾患に関しても、保存的治療から手術（殆どが内視鏡手術）まで、積極的に対応しております。
今後も病診連携をより一層大切にしたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病診連携通信

平成16年10月25日
日高病院病診連携室発行 No4

登録医の先生方の院内掲示

日高病院の玄関に、登録医の先生方を掲示させていただいています。また、先生方の診療所のご案内ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄを置かせていただいています。

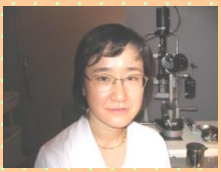
今後も左記のｺｰﾅｰを充実させて、地域住民の皆様に分かりやすい医療情報や福祉情報を発信していきます。

先生方の新しい情報や、ご案内ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄの掲示についてのご要望をお待ちしております。

特集　～ 当院の手術実績 ～

２００３年における眼科の手術を、特集させていただきます。

手術名	術式	眼数
白内障手術	超音波乳化吸引 眼内ﾚﾝｽﾞ挿入	217
	計画的嚢外摘出 眼内ﾚﾝｽﾞ挿入	10
	その他	1
硝子体手術	増殖性硝子体網膜症手術	20
	硝子体茎顕微鏡下離断術	50
	硝子体置換術	5
網膜復位術	バックリング手術	68
斜視手術	外斜視	9
	内斜視	4
	その他	1
緑内障手術	繊維柱帯切除術	6
翼状片手術	翼状片切除 結膜弁移植	5
眼瞼手術	眼瞼内反症手術	4
	眼瞼下垂手術	2
	眼瞼腫瘍摘出	1
	その他	4



眼科医長
宇都木　憲子
群馬大学（平成元年卒）

当院の眼科は白内障、硝子体、網膜剥離を3本柱とし、様々な手術を行っています。
毎週、水曜日には群馬大学講師の、池田医師を招いて斜視の診療、手術も行っています。

白内障手術は基本的に短期入院で行っており、全身的に多少問題があっても対応可能です。

硝子体手術と網膜剥離手術は、手術ができる医療機関が少ないため、主にご紹介いただいた患者さんを、しっかり治して紹介元へお返しするよう努めております。

今後も、病診連携を大切にし、特色を生かした診療を行っていきたいと考えております。

地域ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ広域支援ｾﾝﾀｰの委託を受けました

厚生労働省が進めるﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ支援体制整備推進事業のひとつです。急性期・回復期・維持期のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ技術を、***地域の病院・診療所や介護保険事業者に提供***することにより、地域全体で高齢者や障害者の支援を円滑にすすめる事業です。（高崎・安中保健医療圏内の主に高崎市）

当院では、平成16年10月１日付で群馬県より上記事業を委託されました。具体的には以下のような企画やご相談をお受けいたしております。

- ﾘﾊﾋﾞﾘ研修会を開催いたします。
- ﾘﾊﾋﾞﾘの実地訪問をいたします。
- ﾘﾊﾋﾞﾘの電話相談や面接相談をお受けいたします。

各機関よりご相談をお受けして、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ技術の底上げをして、地域住民のみなさまが、生き生きと自立した生活を送れるようお手伝いする事業です。詳しくは、病診連携室へお気軽にご相談、お問い合わせください。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病診連携通信

平成16年12月13日
日高病院病診連携室発行 No5

病院機能評価を受審しました

11月25・26・27日に日本医療機能評価機構の審査を受けました。
審査を受けるにあたり、患者中心の医療をどの様に提供してゆけば良いかを、職員間で議論する事ができました。
こうした、経験を地域医療に生かしてより病診連携を深めてまいりたいと考えています。

整形外科手術にｵｰﾂﾊﾟｲﾛｯﾄﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝを導入しました

近年、高齢化社会と福祉が進み、老後も積極的に屋外活動を行う人が増えてきました。私が整形外科医になったころ90歳台の方の手術はほとんど無かったと記憶しています。最近では大腿骨頸部骨折の手術は80歳代、90歳代の方へも頻繁に行われています。当院整形外科では、平成16年8月に人工股関節・人工膝関節置換術の手術を迅速かつ適切に行うため、手術を支援するナビゲーションシステムを導入致しました。

人工股関節置換術・人工膝関節置換術においてもインプラントの設置の基準は日本では20世紀的な、手術中に金属製のガイドを見たり、術者のカンで行っているのが現状です。
人間のする事なので角度の誤差は多少出てきます。中にはこれで脱臼してしまったり、手術後、数年でインプラントの破損を起こすケースも散見されます。この誤差をコンピューターアシストで少なく、そして正確にインプラントを設置するため、ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝｼｽﾃﾑを導入いたしました。今後、このシステムを使用して地域の患者様のためによりより良い手術を行っていきたいと考えています。

整形外科　佐居 敏光
埼玉医科大学　H14卒

ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝｼｽﾃﾑ開発者　ｷﾌｧｰ教授の講演会が行われました

11月18日にﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝｼｽﾃﾑの開発者　Prof, Dr.med Hartmunth Kiefer　が来院されました。院内、院外からも聴講者の方が多く訪れ、活発な意見交換ができました。

ｷｰﾌｧｰ教授　講演の様子

ｷﾌｧｰ教授と佐居先生

懇談会では、ﾄﾞｲﾂの医療事情などをお聞きすることができ、とても貴重な時間を過ごすことができました。

ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝｼｽﾃﾑについての、お問い合わせがございましたら、日高病院　病診連携室まで、お問い合わせください。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病診連携通信

平成17年1月10日
日高病院病診連携室発行 No6

新年、明けましておめでとうございます。
さて、本年1月1日付けで急性期特定入院加算算定病院として届出をいたしました。今後、さらに急性期病院として自覚しつつ、積極的に登録医の先生方へ逆紹介をさせて頂き、地域医療に貢献してゆく所存です。本年もご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

日高病院院長　安藤　義孝

新規で登録して頂いた先生方です

昨年に、新規登録を頂いた先生方です。今後ともよろしく願い致します。
平成17年1月1日付けの登録医名簿を送付致します。

高崎市　ワイズクリニック　吉田　和人先生
こだまｸﾘﾆｯｸ　小玉　仁先生　　真木外科　茂木　條二先生　　松島小児科医院　松島　敏先生
高崎ﾍﾟｲﾝｸﾘﾆｯｸ　宮下　興先生　　小倉ｸﾘﾆｯｸ　小倉　道郎先生　　保坂医院　保坂　大吉先生
群馬町　宇都木医院　宇都木　敏浩先生　　**安中市**　いわい中央ｸﾘﾆｯｸ　神保　裕之先生

急性期特定入院加算の届出をしました

平成17年1月1日より、急性期特定入院加算を算定をしています。施設基準は以下の通りです。

① 紹介率が30%以上であること。
② 平均在院日数が17日以内であること。
③ 入院・外来の患者数比率が1：1.5以下であること。
④ 医療事故防止体制がとられていること。
⑤ 詳細な入院診療計画書や退院時要約が作成されていること。
⑥ ICDコーディングが実施されていること。
⑦ 地域連携室が設置されていること。
⑧ 診療実績の開示に応じることができること。

急性期病院、亜急性期病院（ﾘﾊﾋﾞﾘなど）、療養型病院と、機能分化がますます明確になってきていますが、当院は、急性期病院として、地域に密着することを目指しています。

昨年のﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ交流報告

地域のﾎﾞﾗﾝﾃｨｱの方々の力を借りて、患者様の戸外レクを、楽しみました。（5月）
この他、地域小学校、中学校の生徒さんが当院のｸﾘｽﾏｽ会で、合唱などを披露してくれました。
（12月）

11月14日　新潟県川口町へ救援活動のため看護師3名を派遣しました。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病診連携通信

Ｎｏ７
平成17年2月14日
日高病院病診連携室発行

平成16年の手術件数報告

平成16年の手術件数を報告いたします。
診療科別の詳細な手術件数は別添させていただきます。

診　療　科	平成14年	平成15年	平成16年
外　　科	205	201	220
整　形　外　科	250	328	397
泌尿器科（ESWL除く）	297	379	433
脳神経外科（γ ﾅｲﾌ除く）	26	29	30
眼　　科	390	405	417
心臓血管外科	157	159	194
腎　臓　外　科	45	64	41
歯科口腔外科	13	9	11
皮　　膚　　科	0	3	13
総　　件　　数	1383	1577	1756

災害拠点病院として訓練を実施しました

当院は、高崎・安中二次医療圏における災害拠点病院に指定されています。（平成9年3月27日指定）
第2回災害拠点病院災害訓練を2月5日（土）に、高崎市医師会・高崎市等広域消防局・日本赤十字社前橋支部と合同で実施しました。大規模災害により、多数の被災者が集中して来院した場合の緊急時診療体制をﾁｪｯｸし、ｽﾀｯﾌの役割分担が適切であるか、迅速な対応ができたか等の課題を検証しました。
また、今回は当院のみが、被災者治療にあたるだけでなく、地域の医療機関に被災者治療を依頼し、紹介するという連携が緊急時に行えるよう、ｼｭﾐﾚｰｼｮﾝをしました。
ご協力頂いた医師会の先生方、ならびに関係者の方々大変お世話になりました。ありがとうございました。

【ご協力頂いた医師会の先生方】
●釜萢　敏院長先生　●川上　哲男院長先生　●西村　忠雄院長先生
●正木　高院長先生　●長谷部　了院長先生　●吉田　和人院長先生

病診連携ｱﾝｹｰﾄの結果

昨年の秋（10月）に、先生方にｱﾝｹｰﾄをご依頼をした結果、合計82件のご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。
当院に期待している点は、①紹介患者・救急患者の受け入れ②検査機器の利用③入院施設の利用等でした。
不満については、①紹介した患者からのｸﾚｰﾑがあった②逆紹介が少ない③入院後の経過報告がない等でした。
これらの結果を真摯に受け止めて、今後さらに病診連携に努めてまいりたいと思います。
次号の病診連携通信では、ｱﾝｹｰﾄの詳細報告をさせていただきます。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病診連携通信

Ｎｏ８
平成17年3月15日
日高病院病診連携室発行

ｱﾝｹｰﾄの集計結果のお知らせ

昨年に、ご協力をお願い致しましたｱﾝｹｰﾄの結果を別紙にて送付させて頂きました。
先生方のご要望にお応えできるよう、改善すべき点は早急に対策をとらせて頂きます。
今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

院　長　安藤 義孝

医療の質向上のために　MQM：Medical Quality Management（病院品質管理大会）のお知らせ

昨年、医療の質を向上させるため、医療の質を管理する部門【診療録医療情報管理室】を設置しました。院内の医療ﾃﾞｰﾀを総合的に管理するとともに、治療の経過、結果などについて客観的に評価し、医療の充実につなげていくことが目的です。

また、昨年から同室や医師が中心となり独自に評価の指標を設定し①臨床的な質（症例数、合併症発症率）②患者の満足度（入院日数、回復率）③経済性（医療費、平均治療回数）の観点から、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄなどで得た国内外の他病院のﾃﾞｰﾀと比較したり、統計的にそれらを分析して三段階で評価をしています。

今回は、下記内容で、第3回を平成17年3月24日（木）に開催致します。どなたでも参加自由ですので、ぜひご来院ください。お待ちしております。

第1回　平成16年　9月 9日　　泌尿器科（ESWL）　外科（内視鏡）

第2回　平成16年12月24日　　整形外科（大腿骨頚部骨折）

第3回　平成17年　3月24日
時間：午後6時開演
場所：日高病院　6階大会議室

- **眼科における品質管理のあり方**
- **ｸﾘﾆｶﾙﾊﾟｽによるﾁｰﾑ医療とﾘｽｸﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄの先端事例を学ぶ米国ﾂｱｰの報告**
- **糖尿病ｻﾎﾟｰﾄﾁｰﾑの地域医療連携　千葉県立東金病院視察報告**

平成16年救急搬送数のまとめ

平成16年の救急搬送数をまとめました。今後さらに、救急患者・紹介患者の受け入れに力を注ぎます。

年　月	合計(件)	内科	中毒	外科	整形科	泌尿科	脳外科	心外科	腎内科	ﾘﾊﾋﾞﾘ	眼科	皮膚科	歯外科
平成16年1月	149	47	12	9	53	5	17	4	2	0	0	0	0
平成16年2月	129	31	13	16	45	3	17	1	2	0	0	0	1
平成16年3月	144	27	7	16	62	7	18	6	0	0	0	0	1
平成16年4月	138	30	5	20	59	6	12	2	4	0	0	0	0
平成16年5月	142	28	7	8	52	12	22	6	6	0	0	1	0
平成16年6月	132	30	7	15	39	10	21	3	6	0	1	0	0
平成16年7月	152	31	9	23	56	4	22	1	6	0	0	0	0
平成16年8月	139	30	5	8	61	9	24	1	1	0	0	0	0
平成16年9月	130	18	5	10	48	11	29	4	3	0	0	2	0
平成16年10月	157	22	9	17	60	7	32	4	4	0	0	0	2
平成16年11月	143	30	15	13	40	11	25	6	3	0	0	0	0
平成16年12月	153	25	9	11	61	9	27	8	2	0	0	0	1
合　計	1708	349	103	166	636	94	266	46	39	0	1	3	5

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病診連携通信

Ｎｏ９
平成１７年４月８日
日高病院病診連携室発行

地域医療支援病院の承認を頂きました

平成17年4月1日付けで、地域医療支援病院として県知事から名称使用の承認を受けることができました。今後、医療機関の機能分化と連携を図る観点から、医療機関相互の適切な機能分担機能連携を進めてまいる所存でございます。

今後とも、先生方のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

院　長　　安藤　　義孝

地域医療支援病院とは？

医療は、患者様の身近な地域で提供されることが望ましいという観点から、かかりつけ医を地域における第1線の医療機関として位置づけるとともに、かかりつけ医を支援し、二次医療圏単位で地域の充実を図る病院として、平成10年度に地域医療支援病院の制度が設けられました。

地域医療支援病院は、紹介患者に対する医療提供、医療機器の共同利用の実績などを通じて、かかりつけ医を支援する能力を備え、診療するにふさわしい構造設備を有するものを、県知事が承認することとなっています。

地域医療支援病院の機能（承認要件）

①紹介患者に対する医療提供

他の医療機関から紹介された患者様に対し、医療を提供をしていること。紹介率が80%以上（紹介率が60%以上であって、承認後2年間で当該紹介率が80%を達成することが見込まれる場合も含む）であること。

②設備などの共同利用

CTやMRIなどの共同利用など、他の医療機関の医師等が当院の設備等を利用できること。

③救急医療の提供

24時間体制で、救急医療を提供すること。

④地域医療従事者に対する研修の実施

地域の医師を含めた症例検討会など、地域の医療従事者の資質向上のため研修を開催すること。

病院品質管理大会についての様子

平成17年3月24日に病院品質管理大会を開催しました。
眼科における品質管理のあり方や、米国のｶﾚﾝ･ｻﾞﾝﾀﾞｰのｹｱﾏｯﾌﾟ紹介など、海外研修の報告が行われました。
院内外の職員が60名ほど集まり、活発な意見交換が行われました。
次回は、5月に予定をしています。
決定次第、ご連絡いたしますので、多数の参加をお待ちしています。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病診連携通信

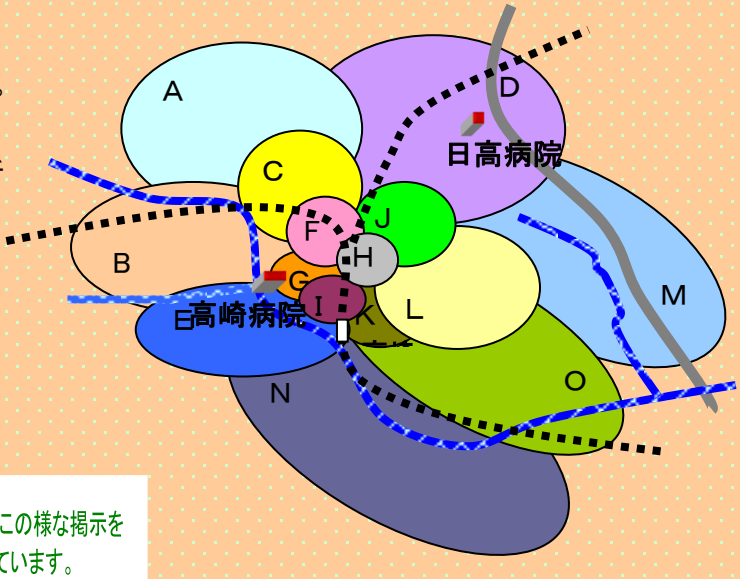
Ｎｏ10
平成17年5月28日
日高病院病診連携室発行

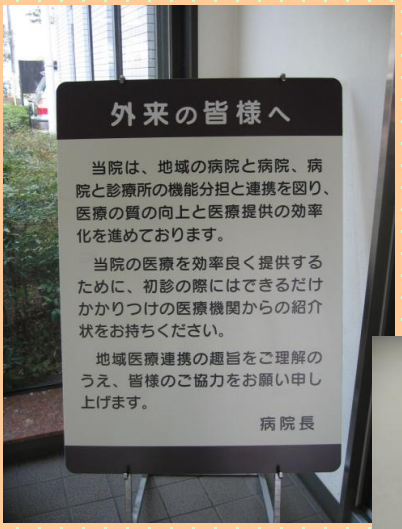
登録医ﾏｯﾌﾟを作成しました

右記の様に、各市町村ごとに医院ﾏｯﾌﾟを作成しました。高崎市をA～J いう地区に分けて、その地区ごとに診療所ﾘｽﾄを作成してあるので、患者様が地域で診療所を探す際に便利だと、言って頂いています。

また、当院の医師が、登録医の先生方への逆紹介をさせて頂く際の、資料としても利用しています。

高崎市病医院マップ





南玄関･北玄関にこの様な掲示をさせて頂いています。

多くの情報を地域住民の方に提供する為に、登録医の先生を募集しています。お電話を頂ければ、早速お伺いをさせて頂き、登録医の登録ご案内を致します。その際、日高病院利用ﾏﾆｭｱﾙと開放病床利用についてご説明をさせて頂きます。

高崎市登録医先生のﾘｽﾄ（例）

地区	診療所名	登録医先生	診療科	〒	住所	電話番号
A	○○クリニック	日高　太郎	整･リウ･リハ	370-0081	高崎市浜川町	027-○○○
B	○○クリニック	高碕太郎	内･リウ	370-0076	高崎市下小塙町	027-○○○
B	○○クリニック	○○　○○	内･消･呼	370-0076	高崎市下小塙町	027-○○○
B	○○クリニック	○○　○○	内･呼･胃･循	370-0874	高崎市中豊岡町	027-○○○
C	○○クリニック	○○　○○	整	370-0069	高崎市飯塚町	027-○○○
C	○○クリニック	○○　○○	内･児･放	370-0074	高崎市下小鳥町	027-○○○
C	○○クリニック	○○　○○	内･神･児･胃	370-0801	高崎市上並榎町町	027-○○○
C	○○クリニック	○○　○○	皮	370-0074	高崎市下小鳥町町	027-○○○
D	○○クリニック	○○　○○	内	370-0883	高崎市井野町	027-○○○
D	○○クリニック	○○　○○	整	370-0069	高崎市大八木町	027-○○○
E	○○クリニック	○○　○○	内･児･放	370-0074	高崎市下豊岡町	027-○○○
E	○○クリニック	○○　○○	内･神･児･胃	370-0801	高崎市片岡町	027-○○○
F	○○クリニック	○○　○○	皮	370-0074	高崎市相生町	027-○○○
続く	続く	続く	続く	続く	続く	続く

上記の地図で地域を色別にして、このﾘｽﾄから診療所の先生を選んで頂くようになっています。

今後は逆紹介をさせて頂く際に必要な先生方の専門分野などをｱﾝｹｰﾄ形式でお聞きしたいと考えています。
ご協力のほど、よろしくお願い致します。

診察一覧表の送付

別添にて、診察一覧表を同封致しました。ご紹介の際の参考になれば幸いです。
また、平成17年6月9日（木曜日）に脳神経外科における品質管理大会を行います。申し込み書を同封致しましたので、ぜひご参加くださいます。
不明な点は病診連携室にお問い合わせください。 **電話：027－362－6201　FAX：027－362－0217**

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病診連携通信

病院理念:患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

医療法人社団日高会 日高病院

Ｎｏ11
平成17年6月18日
日高病院病診連携室発行

地域医療支援病院運営委員会を開催しました

平成17年5月12日（木） 午後2時から第1回地域医療支援病院運営委員会を高崎病院と合同で行いました。

委員会では、高崎市長をはじめ多くの委員から激励やご要望を頂きました。

また、両院長が地域医療支援病院の運営方針を発表しました。高崎・安中二次医療圏の医師会の先生方と共に、より連携体制を醸成させるビジョンが示されました。

運営委員会の様子

当病院長は、地域医療における適切な機能・役割分担について理解し、それらを実践する事を最大の目的として、地域医療支援病院を運営していきたいとｺﾒﾝﾄしました。

日高病院では、全職員に向けて、病院長より病診連携（逆紹介）の強化と重要性について説明がありました。

第1回地域医療支援病院運営委員会出席者

役　職　名	氏　　名
高崎市長	松浦　幸雄
高崎保健福祉事務所長	高橋　祐司
高崎警察署長	阿部　　清
高崎市等広域消防局長	吉村　正樹
高崎市医師会長	釜萢　　敏
高崎市歯科医師会長	村山　利之
群馬郡医師会副会長	永井　伊津夫
碓氷安中医師会長	茂木　正毅
群大附属病院総合診療部教授	田村　遵一
高崎病院長	石田　常博
高崎病院副院長	金澤　紀雄
高崎病院地域連携室長	鈴木　良彦
高崎病院事務部長	岡本　賢介
高崎病院看護部長	金沢　ゆう子
日高病院長	安藤　義孝
日高病院副院長	関原　哲夫
日高病院部長	大澤　清孝
日高病院事務長	小此木　一夫
日高病院看護部長	中里　美千代
日高病院病診連携室長	長谷部　純

【松浦 幸雄市長よりご挨拶を頂きました】

高崎地域の医療圏におきまして、国立病院機構高崎病院が唯一の公的総合病院として、また日高病院は、災害拠点病院として長年にわたりまして地域医療の中核を担っていただき、また市民福祉の向上に大変寄与していただいているところでございます。この度、両病院が地域医療支援病院として承認を受けましたことは、高崎地域医療圏の特殊性や地域完結型医療の観点から、非常に重要なことだと高崎市では考えております。

そして、私どもといたしましても、今回の承認によりまして医療体制の整備が推進され、かかりつけ医との連携による地域医療の質の向上に、大きな期待を寄せているところでございます。今後も両病院が、地域の中核病院として十分な機能を発揮できる病院となりますよう、また更なる医療水準の向上、医療連携の強化、救急体制の強化を図っていただきたいと思っております。特に高崎病院につきましては、小児救急医療を含む高度救急医療を初め、地域医療機関との緊密な連携を図るとともに、癌や循環器疾患に関し専門的な医療及び、臨床研修を目指す病院として整備をお願いするところでございます。

いずれにいたしましても、このような地域医療体制の整備につきましては、現在市民の皆様も大きな関心を寄せていまして、さらに来春には、私ども合併によりまして新しい高崎市の誕生を控えております。両病院に対する期待は、今後も確実に高まってくるわけでございまして、そのようなことからも地域医療支援のかじ取り役であります本運営委員会は大変重要な役割を担っているわけございます。本委員会が活発な意見交換の場になりますように、よろしくお願い申し上げます。

―第1回地域医療支援病院合同運営委員会議事録要旨より抜粋―

MWS日高の在宅事業部のお知らせ

日高会ｸﾞﾙｰﾌﾟでは、平成10年から関連会社であるMWS日高　在宅事業部を開設いたしております。以来、高崎市在宅介護支援ｾﾝﾀｰやﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ、ｹｱﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ事業と在宅介護の事業を充実させてまいりました。在宅療養を積極的に支援している先生方に、介護保険事業者の上手な活用方法のご提案をさせていただきます。

先生方は、診察中に患者様やその介護者の方々から在宅介護の相談を、受けることがあると思われます。そのような際に先生方に代わり、我々、MWS日高在宅事業部が在宅介護に関するご相談をお受けすることが可能です。また、患者様の介護保険の活用方法や、市町村の独自ｻｰﾋﾞｽのご説明、代行申請などをさせていただくことも可能です。先生方の大切なかかりつけ患者様のQOL向上に少しでもお役に立てれば幸いです。尚、各介護保険ｻｰﾋﾞｽのﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄを同封させていただきましたので、ご用命の際はご連絡いただけますようお願い致します。

MWS日高　在宅事業部長　北嶋　史誉
TEL：027－362－0691
FAX：027－362－1420

ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ
ﾘﾊﾋﾞﾘも可能です

子供たちとのふれあい

ひとりひとりの個性を大切に・・・

研修会のお知らせ

医療界を取り巻く、外部環境が激しく変化をみせている中、医療機関としてどの様な視点に立ち将来をｲﾒｰｼﾞしなけらばならないのか？病院職員としてどのような視点で患者を見つめるべきか？
今後の、病医院経営のﾋﾝﾄもちりばめられた講演会です。ぜひご出席ください。

日　　時：平成17年7月22日（金） 午後2時～午後5時00分
場　　所：日高病院　6階　大会議室
演　　題：『 変革した医療供給体制 』
講演者　：岡田　玲一郎（おかだ　れいいちろう）先生
費　　用：無料

岡田玲一郎先生のﾌﾟﾛﾌｨｰﾙ

昭和30年明治薬科大学卒業と同時に堀井薬品（株）にﾌﾟﾛﾊﾟｰとして入社。昭和33年医療法人慈光会入職、薬局長と事務長を務める。昭和48年社会医療研究所創設。所長に就任。

昭和48年より立教大学社会学部講師（施設管理論）を務める。（社）日本病院会顧問。医療と福祉の現場で生起する問題解決を主体に活動している。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念:患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ12
平成17年7月26日
日高病院病診連携室発行

当院のリハビリテーションセンターについて

当院のリハビリテーションは、専任医師2名、理学療法士16名、作業療法士8名、言語聴覚士4名、事務1名、助手1名にて入院・外来の患者様のリハビリテーションを行っております。
当院の特徴としましては、より早い時期からの急性期リハビリの開始と急性期から回復期、外来へと継続的なリハビリを提供させていただいていることです。また、入院中の患者様には、元旦以外の日曜日、祝日もリハビリを行わせていただいております。

ご存知のように、1日も早いリハビリを行うことが、廃用症候群を予防し、疾患によっては生命予後にさえ影響があるといわれております。私どもは、地域の皆様の1日も早い回復を、リハビリテーションという面からサポートして行きたいと考えております。また、外来につきましては、リハビリテーションのみのご紹介も承っております。かかりつけの先生に、継続的に診ていただきながら、リハビリテーションが集中的に必要とご判断されました場合は、リハビリテーションのみご紹介いただければ幸いです。リハビリテーション科の外来診察にはご予約が必要となりますので、お手数ですが病診連携室までご一報いただけますよう、重ねてお願い申し上げます。

日高病院 リハビリテーションセンター
統括室長　後閑　浩之

平成17年6月ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ実績　患者様延べ人数

	入院	外来	合　計(件)
理学療法	2,490	770	3,260
作業療法	1,039	557	1,596
言語療法	457	247	704
合　計(件)	3,986	1,574	5,560

6月の紹介率・平均在院日数など

6月の紹介率など		備　　考
紹 介 率	70.2%	紹介状を持参し患者様の人数を初診患者の数で除した数字です。
救急搬送数	154件	整形外科76件、内科22件、脳神経外科20件が救急搬送受入れトップ3です。
紹 介 数	322件	紹介状を持参した患者様の人数です。
逆紹介数	120件	当院から、病院や診療所にご紹介した患者様の人数です。
平均在院日数	11.8日	回復期ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病棟の入院数を除いた平均在院日数です。
CT/MRI利用数	43件	診療所の先生からご紹介を受けて検査した件数です。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念:患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ13
平成17年8月20日
日高病院病診連携室発行

研修会のお知らせ

地域医療支援病院として、『地域の医療従事者の資質向上を図る研修を実施する』という重要な役割があります。今まで不定期に開催していたのですが、今後は定期的な開催を予定しています。

今回は、**大江 千廣先生（γ ナイフセンター長）が『不随意運動の外科的治療』**と題して、研修会を実施いた

～γ ナイフ治療を含めて～

します。別添の参加申し込み用紙に記載していただき、FAXで送信して頂ければ幸いです。

日　　時 ： 平成17年10月6日（木曜日） 午後7時30分～午後8時30分
場　　所 ： 日高病院 6階 大会議室
問い合わせ ： 日高病院 病診連携室　電話 027-362-6201 FAX 027-362-0217

Japan council for Quality Health Care 日本医療機能評価機構の認定を頂きました

平成17年7月25日付けで日本医療機能評価機構（Ver.4.0）の認定を受けることができました。
大きな審査項目としては、①病院組織と地域における役割 ②患者の権利と安全の確保 ③療養環境と患者サービス④診療の質の確保 ⑤看護の適切な提供 ⑥病院運営管理の合理性 などが挙げられます。 これらの評価項目について書面審査・訪問審査・面接を経て認定をいただきました。

近年、超高齢化や疾病構造の変化、医療技術の進歩により、医療に求められるものが高度化、多様化してきました。この様な状況下で、医療機関は量的整備から質的整備の保証を求められており、良質な医療を提供することが必要不可欠になってきております。
医療を受ける側の地域住民の方や、医療を提供する側の地域診療所の先生方に、質の高い医療と満足できる情報を提供し、信頼される医療機関を目指したいと思っております。

7月の紹介率・平均在院日数など

7月の紹介率など		備　　考
紹 介 率	74.6%	紹介状を持参し患者様の人数を初診患者の数で除した数字です。
救急搬送数	183件	整形外科72件、外科32件、内科28件が救急搬送受入れトップ3です。
紹 介 数	320人	紹介状を持参した患者様の人数です。
逆紹介数	119人	当院から、病院や診療所にご紹介した患者様の人数です。
平均在院日数	12日	回復期ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病棟の入院数を除いた平均在院日数です。
CT/MRI利用数	61人	診療所の先生からご紹介を受けて検査した患者様人数です。

沖縄リハビリツアー無事終了

6月26日～6月29日（3泊4日） 車椅子の旅に行ってきました。
患者様もあきらめていた旅・・・　しかし、首里城見学やイルカと直接触れ合うことができて、感激の涙を流されていました。
11月には、南島ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞの旅を企画しています。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念:患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ14
平成17年9月30日
日高病院病診連携室発行

高崎歯科医師会で登録医の説明をさせて頂きました

８月３０日に、高崎市歯科医師会の例会で、当院の歯科口腔外科 渡部先生が開放病床の説明をさせていただきました。大変貴重な、お時間をいただきありがとうございました。
9月30日現在で17名の先生方から登録のご賛同をいただくことができました。
今後、各歯科診療所の先生方にご連絡をさせて頂き、制度のご説明をしたいと考えております。登録が済み次第、名簿を作成しご送付いたします。

「救急の日」に公開市民講座が開かれました

9月9日救急の日「救急医療週間」の行事として、高崎市・高崎市医師会・高崎市等広域消防局主催で講演会が開催されました。当院の新木外科医長が消防局員や一般市民など300名の聴講者に『救急疾患しての中毒　～身近な薬品の面から～　』という演題で家庭にある身近な薬品の誤飲などによる中毒対応方法や、食中毒などについてのお話しをさせて頂きました。

当院は、薬剤師が中毒相談窓口として、24時間電話相談を受け付けております。
下記にご遠慮なく、ご連絡ください。

中毒相談窓口 ： 日高病院薬局　027-362-6201　（24時間対応可能）
医薬品や家庭用品（タバコ・化粧品など）、農薬・工業薬品等の誤飲などの対応処置について
ご説明させていただいております。ぜひ、お気軽にご相談くださいませ。

新任医師紹介

安藤　哲郎
山形大学
平成１１年卒

東京女子医大病院の腎臓外科より着任いたしました安藤哲郎（あんどうてつお）と申します。腎不全一般、ﾌﾞﾗｯﾄﾞｱｸｾｽ管理、臓器移植を専門としております。地域の皆様に、貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

8月の紹介率・平均在院日数など

8月の紹介率など		備　　考
紹 介 率	76.5%	紹介状を持参し患者様の人数を初診患者の数で除した数字です。
救急搬送数	182件	182件中、62件が入院治療を要する患者でした。
紹 介 数	303件	紹介状を持参した患者様の人数です。
逆紹介数	145件	当院から、病院や診療所にご紹介した患者様の人数です。(お返事状は含みません)
平均在院日数	11.4日	回復期ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病棟の入院数を除いた平均在院日数です。
CT/MRI利用数	37件	診療所の先生からご紹介を受けて検査した患者様人数です。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念:患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ15
平成17年11月7日
日高病院病診連携室発行

研修会のご報告・ご案内

開　催　日　時	内　　容	院外出席者
10月6日　（木）19:30～20:30	大江 千廣医師　『不随意運動の外科的治療』	5名
10月22日（土）16:00～18:00	看護部　『患者・ご家族からのｸﾚｰﾑ対応と接遇』	75名

当院は、平成17年4月1日に群馬県知事より地域医療支援病院の承認受けました。地域医療支援病院とは、紹介患者様に対する医療提供、医療機器などの共同利用の実施を通じてかかりつけ医を支援する能力を備え、それにふさわしい設備を有するものについて名称承認されるものです。地域医療支援病院の役割として、地域医療従事者の質向上を図るための研修の実施がうたわれています。地域医療の連携の質をいっそう向上させるためには、地域の先生方との医療連携を今まで以上に密にし、地域の先生方と当院の医師が率直に意見交換できる場をつくり、お互いに医療を提供するという意識が必要と思われます。

今回、地域医療支援病院研修会が当院ｶﾞﾝﾏﾅｲﾌｾﾝﾀｰ長　大江千廣先生を講師として『不随意運動の外科的治療』の演題のもと開催されました。脳外科手術の歴史を始めとして、解剖学の必要性やｶﾞﾝﾏﾅｲﾌ治療を含めた最先端の治療について機能脳外科の果たしてく役割・重要性についての講演が行われました。質疑応答の際には、活発なやりとり行われました。今後も原則として2ｹ月に一度当院の医師主催による研修会を開催する予定です。地域の医療機関の先生方にはご指導、ご鞭撻を仰ぎながら、地域医療に貢献できる内容を検討し、企画させて頂きたいと存じます。何卒ご理解、ご協力のほど宜しくお願い致します。

地域医療支援病院研修会委員長　増田　広

【今後の研修予定】

日　時：平成17年11月17日（木）午後7時30分～8時30分
テーマ：『前立腺癌の診断と治療』　　関原哲夫 副院長
場　所：日高病院　6階大会議室

日　時：平成17年12月　7日（水）午後7時30分～8時30分
テーマ：『日高病院における造影検査のﾘｽｸﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄの考え方と実際』
～ﾘｽｸの除外と対応～　　須田悟志 放射線科主任
場　所：日高病院　6階大会議室

当院の診療録・医療情報管理室について

■日高病院では、平成16年1月に電子カルテ・オーダリング、看護支援システム、画像システムなど医療情報システムを導入しました。この結果、患者様の診療履歴の参照や、医療チーム間の情報共有が速やかになり、今まで以上に救急患者様などへの対応が迅速になりました。
■診療録・医療情報管理室は医療情報システムの保守・管理、電子カルテの操作指導、各種統計処理、システムの改修・追加・新規企画の立案、診療記録に関する規程・マニュアル作りなどを行う部署です。現在、管理者1名、診療情報管理士2名、システムエンジニア1名の計4名でこれらの業務に取り組んでいます。
■今後は、情報システムを医療連携に活用できればと考えています。ご意見等ございましたら、ぜひお寄せください。

診療録・医療情報管理室長　茂木信介

9月の紹介率・平均在院日数など

９月の紹介率など		備　　考
紹 介 率	78.3%	紹介状を持参し患者様の人数を初診患者の数で除した数字です。
救急搬送数	139件	
紹 介 数	306件	紹介状を持参した患者様の人数です。
逆紹介数	116件	当院から、病院や診療所にご紹介した患者様の人数です。（お返事状は含みません
平均在院日数	11.7日	回復期ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病棟の入院数を除いた平均在院日数です。
CT/MRI利用数	47件	診療所の先生からご紹介を受けて検査した患者様人数です。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念:患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ16
平成17年12月10日
日高病院病診連携室発行

新型の体外衝撃波結石破砕装置を導入致しました

今回、日高病院では従来の体外衝撃波結石破砕装置(ドルニエ社　HM-3)に加えて、平成17年11月より、ドイツ　ドルニエ社の第三世代装置である最新型体外衝撃波結石破砕装置(リソトリプターD)を導入しました。

本装置の特色は・・・

① 治療中の痛みが少なく、結石の種類・大きさにより衝撃波の強さをきめ細かく調節できます。
② 電磁誘導方式という衝撃波発生装置で強力な破砕力を有しています。
（有効率は95%であり、従来のﾀｲﾌﾟに比べて遜色ない破砕効果を持ちます）
③ 従来の破砕装置に比べて小型化しています
④ 無麻酔治療が可能です
⑤ X線装置・超音波装置を併用することで、レントゲンでは分かりにくい結石も迅速かつ、正確に結石の位置を確認し、安全かつ確実に破砕を行うことが可能であり、治療中はリアルタイムに結石の位置・破砕状況を把握できます。
⑥ ベッドに約1時間よこになっていただくだけで、破砕が終了します

他、従来の体外衝撃波腎尿管結石破砕術(ESWL)の特徴(体に傷がつかない・副作用が少ない・入院期間が短く退院後の日常生活復帰や職場への復帰が可能である)も網羅しております。

今まで当院で使用していた機種と組み合わせることで、様々な尿路感染に対して多角的に治療を行うことも可能となりました。

当施設では、尿路結石症診療ガイドラインに基づき尿路結石の治療を行っており、ESWLの治療以外にリトクラスト(空圧式結石破砕装置)を用いて経尿道的尿管結石術(TUR)、経皮的腎破砕石術(PNL)の施行も可能であり、切らずに治療する事を目標に掲げて積極的に尿路結石の治療を行っております。

今後は、最新式の装置を用いた外来での結石破砕装置の早期実現や病院間での結石破砕治療に関するクリニカルパス導入も検討していく予定です。

泌尿器科医長　増田　広

ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝﾂｱｰに行ってまいりました

平成17年11月26日～12月4日にニュージーランドに行ってきました。当院は昭和62年から、国内・海外旅行を企画し、患者様とともに『旅は最高のリハビリ』というスローガンのもと、自立への第一歩となるようお手伝いをさせて頂いております。今回は、患者様・ご家族・スタッフ総勢13名でニュージーランドの大自然に飛び込んで来ました。患者様からは、『ほんのちょっとの勇気を出せばこのような体験ができる・自信がついた』などうれしい感想を聞くことが出来ました。今後は、さらに広く参加者を募るようにしたいと考えております。

高崎市在宅介護支援ｾﾝﾀｰ　磯部　啓子

新高尾小学校で車椅子学習会をしました

平成17年12月9日　午後2時30分から新高尾小学校で、小学5年生を対象に授業の一環として車椅子講習会を致しました。将来、私達がお世話になる世代ですので、講習会にも力が入りました。車椅子をはじめて操作する児童が大半を占めていましたがとても器用に操作していました。担任の先生方も、車椅子操作の初体験ということで、児童・先生方ととても楽しい有意義な時間を過ごすことが出来ました。

病診連携室　長谷部　純

10月・11月の紹介率・平均在院日数など

紹介実績・救急患者等	10月	11月	備　　考
紹 介 率	80.8%	80.3%	紹介状を持参した患者数を初診数で除した数字です
救急搬送数	141件	175件	1日平均救急搬送数が5台～5.8台となっています
紹 介 数	302件	299件	紹介状を持参した患者数です
逆紹介数	109件	132件	診療情報提供書を記入した数です(同法人宛は含まない)
平均在院日数	11.5日	11.6日	一般病床の平均在院日数です(回復期ﾘﾊ病棟は含まない)

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念:患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ17
平成18年1月15日
日高病院病診連携室発行

新年明けましておめでとうございます

新年、明けましておめでとうございます。
今後の医療制度改革のなかで、地域医療支援病院としての役割を果たせるよう、本年1月1日付けで、使用許可病床数185床から205床へ増床許可を頂きました。
今年は、診療報酬制度と介護保険報酬制度の大きな改定がございます。各医療機関が地域の中で、患者を淀みない流れに乗せる連携が、評価されるとも言われております。この様な医療制度改革が行われるなか、当院は地域医療支援病院として、以下の事項に取り組んでまいりたいと考えております。

①病診・病病連携をより強化し地域医療機関の信頼を構築します。
②臨床研修管理病院を目指します。
③良質なサービス提供と利用者本位を基本姿勢として、職員教育を実践します。

本年も皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

日高病院院長　　安藤　義孝

平成17年救急搬送患者数

平成16年の救急搬送数は1708件でした。平成17年は1891台と前年比183件増で、月平均15.3件増という結果でした。今年も引き続き、救急患者や休日・夜間の患者を積極的に診療致します。

月	合計	内科	中毒	外科	整形科	泌尿科	脳外科	心外科	腎科	リハ科	眼科	皮膚科	歯口科
1月	**153**	18	8	18	63	5	30	4	4	0	1	2	0
2月	**140**	41	5	17	33	6	28	6	4	0	0	0	0
3月	**154**	30	16	22	44	6	26	7	3	0	0	0	0
4月	**153**	25	12	11	69	6	21	4	3	1	0	0	1
5月	**148**	29	4	20	54	12	23	5	1	0	0	0	0
6月	**153**	21	3	21	75	8	20	4	1	0	0	0	0
7月	**183**	28	11	32	72	12	24	4	0	0	0	0	0
8月	**182**	38	12	22	60	16	28	5	1	0	0	0	0
9月	**139**	16	6	19	60	7	25	4	0	1	1	0	0
10月	**141**	31	10	14	50	10	21	5	0	0	0	0	0
11月	**174**	30	4	18	74	12	25	9	1	0	0	0	1
12月	**171**	22	7	27	60	9	30	7	7	0	0	1	1
合計	**1891**	**329**	**98**	**241**	**714**	**109**	**301**	**64**	**25**	**2**	**2**	**3**	**3**

病診連携室からのお知らせ

明けましておめでとうございます。旧年中は、つたない病診連携通信をお読み頂き大変感謝しております。本年もどうぞよろしくお願い致します。
本年は、登録医の先生方にFAXによるニュースレターを不定期発行したいと考えております。月刊発行のみの病診連携通信以上に、リアルタイムに詳細情報やトピックス、空床情報を掲載する予定です。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

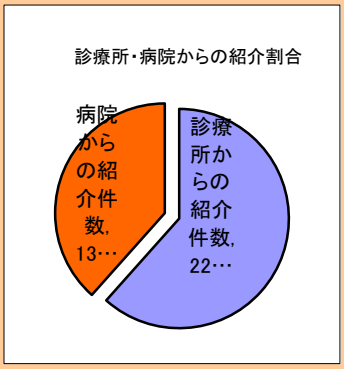
Ｎｏ18
平成18年2月4日
日高病院病診連携室発行

平成17年の紹介患者数について

平成17年1月から12月までの紹介患者総数は3590件でした。ご紹介頂きました地域医療機関の先生方には大変感謝申し上げます。診療所、病院からの紹介割合は以下の通りです。

紹介患者総数＝3590件

診療所からの紹介件数			病院からの紹介件数		
2211			1379		
診療所からの紹介割合			病院からの紹介割合		
61.6%			38.4%		
外来（再掲）	入院（再掲）	検査（再掲）	外来（再掲）	入院（再掲）	検査（再掲）
1297	426	488	971	361	47
58.7%	19.3%	22.1%	70.4%	26.2%	3.4%



紹介目的別・診療科別の紹介患者数です。外来でご紹介頂いた患者様の中には、後日入院して頂いたケースもあるので、入院紹介の件数は参考になってしまいます。

外来　2,268件											
内科	腎内	腎外	整形	外科	泌尿	脳外	眼科	皮膚	リハ	心外	歯口
223	84	12	346	295	648	360	72	18	112	63	35
入院 787件											
内科	腎内	腎外	整形	外科	泌尿	脳外	眼科	皮膚	リハ	心外	歯口
174	36	6	113	132	152	80	20	0	42	31	1
検査　535件											
内科	腎内	腎外	整形	外科	泌尿	脳外	眼科	皮膚	リハ	心外	歯口
61	0	0	179	77	133	27	1	0	1	0	56

平成17年の基本統計と月平均数

	平均在院日数	救急搬送数	新入院患者数	退院患者数	一般紹介率	支援病院紹介率
月平均	11.7	157.7	331.1	330.4	66.5%	75.1%
1月	12.0	153	332	289	61.8%	
2月	12.0	140	308	317	61.0%	
3月	12.0	154	354	356	63.1%	
4月	11.8	153	306	339	64.7%	64.3%
5月	11.9	148	336	295	61.4%	71.2%
6月	11.8	153	342	354	66.3%	70.2%
7月	11.9	183	323	340	72.5%	74.6%
8月	11.4	182	368	354	70.6%	76.5%
9月	11.7	139	287	292	66.3%	78.3%
10月	11.5	141	345	337	65.7%	80.8%
11月	11.6	175	341	340	73.1%	80.3%
12月	11.2	171	331	352	71.6%	80.3%

平成17年の統計です。特に救急搬送数が年々増加傾向にあります。月平均で前年比＋15件、一昨年比＋38件となっております。

また、新入院患者数は月平均で前年比＋18件であり、地域の中で、緊急入院の要望が多いということが伺えます。

今後も地域の先生方のご要望にお応えできるような体制づくりをしていきます。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ19
平成18年3月16日
日高病院病診連携室発行

NST教育認定施設の指定を受けました

栄養管理は、すべての疾患で共通する最も基本的医療です。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、検査技師など、多くの専門職種からなるNST（Nutrition Support Team：栄養サポートチーム）は、栄養療法の推進や臨床栄養の適正化の立場から個々の患者様に応じた患者様のためのチームを目指すものとされています。

当院でも、平成16年5月より、NST稼動の準備を始め、翌年5月より病棟回診など、NSTスタッフによる具体的な活動を開始しました。平成17年10月には、日本静脈経腸栄養学会から、NST稼動施設認定をいただきました。

また、NST専門療養士の資格を取得するために、学会指定施設での40時間の研修が必要となりますが、平成18年1月25日より、その研修が行える認定教育施設となりました。 まずは、院内スタッフのさらなるレベルアップを図り、今後は他施設の方々を含め、適切な、栄養管理ができる多くの人材が生まれ育つよう、微力ながらご協力できればと考えております。

【今後のNST活動課題】

① 院内にNSTを浸透させ、さらに関心をもってもらう。
② NST活動のアウトカムの検証をする。
③ 褥創や感染対策委員会と組織横断的連携を形成する。
④入院前後を含めた地域一体型NSTの確立などを目指す。

なお、平成１８年度の診療報酬改定では、入院基本料の加算として『栄養管理実施加算１日につき１２点』が新設されることとなりました。

【施設基準要件】

① 常勤の管理栄養士が1名以上配置されていること。
② 入院時に患者様ごとの、栄養状態の評価を行い、医師、管理栄養士、薬剤師、看護師等の医療従事者が共同して栄養状態、摂食機能及び食形態を考慮した栄養管理計画を作成していること。
③ 当該栄養計画に基づき、患者ごとの、栄養管理を行うとともに、栄養状態を定期的に記録していること。
④ 当該栄養計画に基づき、患者ごとの、栄養状態を定期的に評価し、必要に応じて計画を見直していること。

栄養ケアマネージメント

1. 栄養スクリーニングによる患者選定
   - ●ALB3.0g/dl以下
   - ●体重減少
   - ●褥瘡保有患者
2. 栄養アセスメント〔詳細評価〕
   - ●栄養摂取量確認
   - ●身体計測
   - ●生化学検査

3. プランニング〔必要エネルギー量の決定〕
   - ●投与方法の選択
4. 実施〔栄養介入〕

5. モニタリング
6. 栄養評価
7. 栄養療法の終了

カウンセリングルームのご案内

平成 9年から、社団法人日本産業ｶｳﾝｾﾗｰ協会のｶｳﾝｾﾗｰをﾎﾞﾗﾝﾃｨｱとして、日高病院に派遣させて頂いております。産業ｶｳﾝｾﾗｰとは、働く人とその家族に対してｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞを行うｶｳﾝｾﾗｰです。**ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ**ってなに？と改めて聞かれると、すぐに答えられる方は少ないようです。難しく考えずに、『心理的な手法を用いて、相談にきた方が抱えている問題について、自分の力で解決できるように相談援助するもの』とお考えください。私たちｶｳﾝｾﾗｰは、『人間は、より良い自己を目指して生きていく素晴らしい力を持っている』と確信しております。そして皆様が、より良く生きられるための伴走者でありたいと願ってやみません。

貴院の患者様で、『ちょっと、精神科に相談するほどでもないが・・・精神的なﾌｫﾛｰが必要だな・・・』『介護疲れで家族の精神的なﾌｫﾛｰが必要じゃない？』という方がいらっしゃたら下記にご相談、もしくは連絡先を患者様にお知らせください。

（社）日本産業ｶｳﾝｾﾗｰ協会
群馬事務所長　沼澤　文子

【連絡先】
社団法人日本産業ｶｳﾝｾﾗｰ協会　上信越支部
〒370-0006　群馬県高崎市問屋町3-10-3　高崎問屋町ｾﾝﾀｰ第2ﾋﾞﾙ　301号
TEL＆FAX　027-365－257 e-mail : gunma@jica-jse.jp

日高病院ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞﾙｰﾑ
相談日：毎週土曜日
10:00～12:00　13:00～16:00
利用料金：無料
直接訪問でも予約空きがあれば相談可
申し込み：027-362-6201

群馬事務所
相談日：毎週水曜日
18:00～21:00（要予約）
利用料金：1回50分
5，000円
申し込み：027-321-2575

ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞﾙｰﾑ

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

No20
平成18年5月29日
日高病院病診連携室発行

新体制！病診連携室です

平成18年度4月1日付けで、日高病院の病診連携室が新体制となりました。

職　　名	氏　名	一言ごあいさつ
病診連携室　室長	増田　広	顔の見える医療連携を目指します。
病診連携室　連携推進室長	長谷部　純	先生方のご要望を、より早く病院ｻｰﾋﾞｽとして具体化致します。
医療ﾈｯﾄﾜｰｸ担当	橋爪　秀忠	より多くの先生方に顔を覚えてもらえるよう、訪問をさせて頂きます。
医療ｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ	上田　雅士	複雑化する介護保険制度や、社会資源を有効に活用し、地域貢献をさせて頂きます。
医療ｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ	菊池　渓心	ﾌｯﾄﾜｰｸを一番心がけています。どの様なご相談もお任せください。
医療ｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ	佐藤　貴之	患者様やご家族のことを第一に考えた医療相談を心がけます。
予約ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	岡田　千穂	さわやかな電話対応と、ご要望に合わせたご予約をｽﾑｰｽﾞにお取り致します。
予約ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	下田　洋子	先生から伺ったご用件を、正確に院内に伝達することを心がけております。
予約ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	木村　悦子	地域各診療所の先生方の情報を、逆紹介に生かし、住民広報に努めます。

このたび、平成18年4月1日付けで日高病院病診連携室室長を拝命致しました、増田と申します。泌尿器科を専門としております。

当院は、平成17年4月1日より群馬県知事から地域医療支援病院に承認されました。今回このような資格を取得できたのは、地域の登録医の先生方の多大な御理解と御協力の賜物と考えております。書面ではありますが、この場をお借りして御礼申し上げます。

群馬大学（H4卒）
室長　増田　広

さて、当連携室は私を含めて9名で構成され、地域連携の充実を目指して日々業務を遂行しております。その中で3名の医療ソーシャルワーカーが、社会福祉の立場から患者さま及びご家族の方々の援助を行っております。当該地域の医療・保健・福祉機関への関与の際、更には居宅介護サービスの支援体制を要する時には、その存在と実力をいかんなく発揮し、様々な形で先生方のお役に立てると確信しております。

今後はかかりつけ医の先生方と当院医師との意志疎通を図れる場を作り、更なる連携強化に尽力する所存でございます。そのためには当院の診療内容や各医師の専門分野を先生方に発信させて頂き、連絡を密に取りながら、関係を築くことが重要であると考えております。先生方からの信頼と高い評価を得ると共に、患者さまの望む医療を提供するためには、これまで以上の密な地域医療連携が必須と考えております。

そのための一つの手段として、当院医師による地域医療支援病院としての定期的な研修会があります。是非多数の先生方に出席して頂きたいと考えておりますので、ご興味があるテーマの際は、当院病診連携室までご一報頂ければ幸いです。

信頼され、必要とされ、選ばれる病院を目指すには、私たちのたゆまない努力と地域医療に携わる先生方の御協力が不可欠でございます。地域医療に貢献したいという気持ちは、先生方と同じであると自負しております。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

日高病院　病診連携室
室長　増田　広

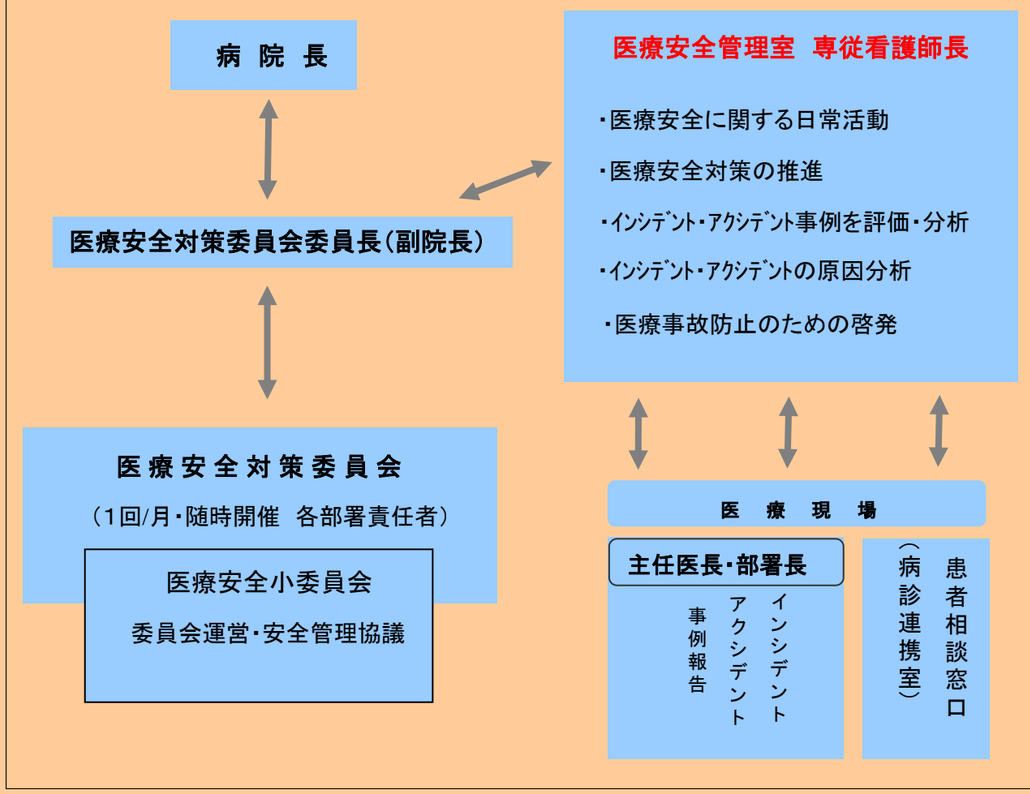
医療安全管理室　専従看護師長の就任

はじめまして

医療安全管理室の専従看護師の大嶋秀子と申します。当院では、医療安全管理対策委員会活動として、ｲﾝｼﾃﾞﾝﾄ・ｱｸｼﾃﾞﾝﾄﾚﾎﾟｰﾄ、転落転倒ｲﾝｼﾃﾞﾝﾄﾚﾎﾟｰﾄの提出を促し、レポートを検証しております。事例を共有し対策案を話し合うことで、より良いシステムを構築して、事故防止に努めて参りました。

今回の診療報酬改定で、医療に係る安全管理を行う部門の設置が評価されたことを契機として、当院も医療安全管理室を設置し、従来の医療安全管理対策委員会活動と連携し、より実効性のある組織づくりを目指しております。

【　当院の医療安全管理室と医療安全対策委員会の役割　】



インシデントとは、思いがけない出来事「偶発事故」で「ヒヤリ・ハット」とも言われています。そのインシデントに気づかなかったり、適切な処置が行われないと障害が発生し「事故」となってしまいます。今後は、インシデントを早期に発見できるような人材育成も大切な業務と考えています。日高病院に対してお気づきの点がございましたら、どのような些細なことでも結構ですので、お知らせください。患者様の安全管理に役立たせ、質の高い医療を提供できるよう、院内で協議させていただきます。今後とも各先生方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

医療安全管理室
看護師長　大嶋　秀子